



内 容

技術分野

学期・月	教材名	学習活動
1 学期	*前期（10月中旬まで）は家庭科分野を学ぶ	
2 学 期	10 ○ガイダンス ・技術とわたしたちの生活 ・学習の進め方と作業の安全	○技術が生活の向上や産業の発展に関わっていることに気づく。 ・さまざまな技術 ・技術の進展と生活・産業 ・技術と環境 ・技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束
	11 【情報】 ○情報とわたしたちの生活  ○情報通信ネットワークの利用	○情報に関する技術とその役割に関心をもつ。 ・社会における情報に関する技術 ・情報に関する技術とその役割  ○情報通信ネットワークの構成や情報を伝達するしくみを知る。 ・情報を扱う機器の構成 ・情報通信ネットワークの構成 ・情報を伝えるしくみ ・インターネットの利用
	12 ○情報通信ネットワークと情報セキュリティ、情報モラル	○情報通信ネットワークの危険性、安全に情報を利用するしくみを知る。 ・情報通信ネットワークの危険性 ・情報セキュリティ ・利用するときのモラル ・人権や個人情報の保護 ・知的財産の保護
	○材料と加工に関する技術（板材を利用したものづくり） ○木（植物）と環境とのかかわり ○製作品に用いられる材料の特徴 ○製作品の構想の表示（2段式本立ての製作） ・見取り図の作成 ・材料取り ・板材へのけがき ・木工具の使い方	○木材の利用と森林資源との関わりが理解できる ・木が自然界に果たしている役割  ○木の特徴を生かした製品（他の材料にはない良さを生かした製品）  ・キャビネット図、等角図の書き方 ・等角図を活用した見取り図と平面図の作成 ・さしがねの活用 ・板材へのけがき ・木工具の使い方
3 学 期	1 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ（塗装） ・作品の自己評価 ・木材資源の利用と役割	・各工具を使用した部品加工 ・両刃のこぎり、かんな削り ・玄能・電気ドリルの使い方、釘と接着剤を併用した組み立て ・面取り、やすりがけ ・自己評価
2	2 ・部品加工 ・仕上げ（塗装） ・作品の自己評価 ・木材資源の利用と役割	・面取り、やすりがけ ・自己評価
3	3	

評 価

技術分野 <評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
  - ・実習に集中して取り組み、毎時間の課題を計画的に進めることができる。
  - ・しっかりノートがとれプリントをきちんとまとめることができる。
  - ・持ち物をきちんと用意して授業にのぞむことができる
- ② 創意工夫する能力
  - ・ものづくりを通して、考える力・工夫する力を身に付ける
  - ・製作物の形や構成などを工夫する。
  - ・効率的に作業しようと工夫する。など
- ③ 生活の技能
  - ・作品の仕上がり（かんな削り、釘打ち、面取り等の正確さ）具合。
  - ・工具の正しい使い方と手入れや管理ができる。
- ④ 知識・理解
  - ・図面の書き方、工具の正しい使い方や管理についての基礎的知識を学ぶ。
- ⑤ <評価の方法>
  - ・毎時間の授業への取組、製作物の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、定期テストを基にして総合的に評価する。



**授業中**  
① 授業の準備をする。  
（道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る）  
② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。  
③ 創意工夫して作品を制作する。



**復習**  
取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。  
（遅れてる場合、自分でできることを行う。）  
\*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。

※ 安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。